

平成 28 年度

# 第 1 回中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会資料

## <目 次>

### 1. これまでの検討経緯

- (1) 四日市市中心市街地活性化推進方策調査検討事業の報告について…… 1
- (2) 四日市市中心市街地活性化推進方策調査検討事業の報告を  
受けての本市の方針について…………… 3
- (3) 新図書館にかかるこれまでの検討経過について…………… 4

### 2. 今後のスケジュール…………… 6

### 参 考

- <参考資料-1> 中心市街地周辺地図…………… 7
- <参考資料-2> 市庁舎周辺平面図…………… 8
- <参考資料-3> 四日市市立図書館の現況及び利用者数の推移について…………… 9
- <参考資料-4> 導入機能の想定イメージについて…………… 10

平成 28 年 8 月 31 日

四日市市 政策推進部 政策推進課

## 1. これまでの検討経緯

### (1) 四日市市中心市街地活性化推進方策調査検討事業の報告について

中心市街地についてのこれまでの考え方をふまえ、その活性化に繋がる具体的な推進方策に関して「四日市市中心市街地活性化推進方策検討会議」を設置し、中心市街地の活性化に繋がる以下に掲げる内容について具体的な推進方策の策定に関する調査検討を行い、その結果について、4月28日に委員長より市長に報告を受けました。

#### <検討事項>

- ▶本市のシティ・プロモーションの拠点や市民交流拠点の整備について、文化施設等も視野に入れた推進方策
- ▶公有地や公共性の高い空間の活用及び民間活力の活用も視野に入れた合理的な施設整備や整備後の施設運営
- ▶中心市街地ににぎわいを取り戻すためのあらゆる可能性

#### 1. 「四日市市中心市街地活性化推進方策検討会議」について

##### (1) 会議の開催状況と主な意見

- 第1回 平成27年11月28日(土) 『専門的見地からの意見交換』
  - ・活性化には、まつりやイベントなど地域のコミュニティづくりや絆づくりの場が重要。
  - ・ソフトを入れるための器としてハードを検討すべき。
  - ・四日市市が持つ先取りの特性を活かす取り組みとして、電子図書も扱う図書館などが考えられる。
- 第2回 平成27年12月25日(金) 『市民ニーズについて』
  - ・「まちづくりはまつりから」、ソフトで交流人口を増加させることが重要。
  - ・交流を広げていくには、ボランティアなどの団体が気軽に集える場が必要。
  - ・イベントの担い手に対する支援の仕組みと拠点形成は一体不可分である。
- 第3回 平成28年1月20日(水) 『公園・公有地ごとの立地条件と評価』
  - ・市役所東側の芝生広場は、国道1号からも見え、大四日市まつりなどの大規模イベントとの連携もしやすい。また、未利用地であるため有効活用も可能。
  - ・公園は、神社なども重要な資源と捉え、管理運営の方法を工夫すれば、より魅力的な場所となる。
  - ・諏訪公園は、中心商店街との連携が図りやすく相乗効果が期待できる。
- 第4回 平成28年2月19日(木) 『中心市街地に求められる機能等について』
  - ・他都市の事例からも、多機能な施設とすることで、異なる層の出会いが生まれ、新たな交流も生まれる。
- 第5回 平成28年3月23日(木) 『報告書の内容に関するまとめ』
  - ・市庁舎周辺は、以前公会堂など文化施設が立地していた場所であり、年配者には分かりやすい。また、中心市街地活性化のニーズは、近鉄駅の東地区が特に高く、市庁舎を核として生かすことができる。
  - ・施設整備にあたっては、市全体の公共施設の総合管理計画からも検討を行うべき。

## (2) 検討結果の概要

「中心市街地ににぎわいを取り戻すためのあらゆる可能性について検討をする」ことを目的として、まちづくり施策のソフトと公共施設整備のハードの両面から幅広い検討を行い、それらの実装化へ向けて、中心市街地に立地する 3 つの都市公園と 1 カ所の公有地を対象に、中心市街地活性化に資する利活用のあり方や公共施設の整備の可能性と考え方について検討を行いました。

## ① 3 つの都市公園及び 1 カ所の公有地の整備・利活用に関する検討内容

## (ア) 求められる機能についての検討

中心市街地に根ざした多様な市民活動やイベント等の年間活動の場、それらの活動を支援する幅広いサポート機能や情報発信機能、幅広い年齢層の人々をひきつけるような魅力的な空間「サードプレイス\*」として複合的な機能を組み合わせた場所とする。

\*サードプレイス…家庭や職場・学校での役割から解放され、直接的な目的が無くても、気ままにふらりと立ち寄れるような空間

## (イ) 特色化・魅力化についての検討

産業と環境の両立といった先進性や革新性、高度な技術力や研究力という四日市市固有の都市イメージを最大限に活かし、IOT（情報とものづくり）、IT ライフスタイル（情報と暮らし）など次世代のライフスタイルの体験やサポートを受けることができる場所とする。

## (ウ) まちづくりとしての総合的な検討

公共交通機関の充実した利便性の高い中心市街地における公有地の整備・利活用にあたっては、中央通り、三滝通り、旧東海道など既存の街路空間や街並みを、徒歩や自転車で利用できる憩いの都市空間として総合的に位置づけ、市民利用の観点から管理運営と施設整備の方針を検討し、空間利用に関わる規制緩和を視野に入れた公共施設・公有地利用を総合的に検討する。

その他、防災・減災に関して、平時から市民と市行政、民間事業者や非営利組織等が行政と協働して進める減災まちづくりの活動・連携の場となるよう配慮する。

## ② 市民活動と地域活動の交流拠点に求められる機能イメージの検討

利用対象者や地域に根ざした市民活動などから交流拠点に求められる機能の検討を行った。

利用対象者：中高生、学生、ビジネスマン、子育て世代、高齢者、来街者、等

求められる  
機能

○まちづくり・催事組織の活動支援拠点

・大四日市まつり等中心市街地内の大規模イベントの年間を通じた活動支援

○まちなかの居場所スペース

・日常の居場所にもなる「滞在型図書館」

・新たな情報へとアクセスできる IT・デジタルの「情報基盤型図書館」にもなり得るもの

○カフェ ○ワークショップスペース ○屋外のオープンスペース

○多目的小ホール/スタジオ（ヘルスケア含む） ○ミーティング/バックヤード

○市民フォーラム・展示交流空間

## (2) 四日市市中心市街地活性化推進方策調査検討事業の 報告を受けての本市の方針について

中心市街地活性化は、本市の長年の課題であり、その具体的な推進方策の 1 つである拠点施設整備については、活性化の効果をできるだけ早く出す必要があることから、中心市街地における公共性の高い空間の活用及び合理的な施設整備にすぐに着手できる場所としての検討をおこない、新たな活性化拠点施設について、市としての基本方針（案）を取りまとめた。

市としては、各公園および公有地における整備・利活用の検討内容、および総合的な評価を踏まえ、以下の点を目的として、「庁舎東側広場（旧市庁舎跡地）」において、新たな活性化拠点施設を整備する方向で具体的な検討を進める。

一方、3 つの都市公園についても、検討会議で提案された魅力化の考え方を参考に、中心市街地ににぎわいを創出するための今後の整備方策について検討する。

### 1. 拠点施設整備の目的

- (1) 近鉄四日市駅から JR 四日市駅までのエリアにおける民間の土地利用の誘導を促進する。
- (2) 三滝通りや中央通りから視認性の高いランドマークをつくることで、中心市街地の回遊性強化や活性化につなげる。
- (3) 市役所や総合会館といった既存の公共施設とともに、広く開かれたシビックコアを形成し、市民の更なる利便性の向上とともに、相乗効果を高める。

### 2. 導入機能

さらに施設整備にあたっては、次に挙げる機能を含む、新たな活性化拠点施設として、具体的な検討を進める。

- ① ICTにも対応し、日常の居場所ともなる「新たな滞在型図書館」
- ② 市民活動における多世代交流機能やワークショップスペース機能
- ③ シティプロモーションの拠点となる情報発信機能
- ④ カフェなど軽飲食ができる憩いの空間 など

### (3) 新図書館にかかるこれまでの検討経過について

#### 1. 「市民に求められる四日市市立図書館像について(提言)」(平成 17 年 3 月)

平成 16 年 8 月に実施した「市民アンケート」での市民要望等をまとめ、「市民に求められる図書館の将来像」を提言したもの

##### ① 基本的な考え方

- 1) 生涯学習の中心的役割を担うため、すべての学習情報・資料をすべての利用者に提供するという基本理念の下に、「いつでも、どこでも、だれにでも」開かれたハイブリッド図書館として機能する。(ハイブリッド図書館とは、従来の伝統的な図書館機能に加え、電子図書館機能を併せ持つ図書館。)
- 2) 他の図書館や社会教育関係機関、市民グループなどとの幅広い連携関係を基盤とし、24 時間稼働する“学びのオアシス・ネットワーク”を構築し、その中核的な役割をも担う。

#### 2. 「新しい図書館のあり方検討会報告書」(平成 22 年 9 月)

1. での提言等をふまえ、「図書館の今後の方向性」として新しい図書館のあり方を報告したもの

##### ① 今後の方向性に関する基本的な考え方

- 1) 総合メディアセンターよりも社会教育の場として  
ネット PC や DVD など総合メディアセンター機能もあるが、図書館原点の幼児教育も含む社会教育の場を大切に。
- 2) 子どもたちにとって良好な読書環境の創出  
明るい色彩や畳スペースなど子どもたちが本と親しみ、読書を楽しむ環境づくりと機会の提供を。

##### ② 図書館のサービス業務の充実

- 1) 「こころの憩いの場」としてのゆったり感の醸成  
書架の高さやレイアウトなどでゆったりとした雰囲気、樹木や植物などで憩いの場の演出を。
- 2) 図書館職員(司書)の資質向上  
図書館司書の存在は非常に重要であり、司書を含む職員の人材育成など図書館職員の充実を。
- 3) 多様化する市民ニーズへの対応  
休館日の変更や IC タグによる貸出・返却のスピード化の検討、またホームページで新着本等の情報発信など、図書館サービスの充実を。

##### ③ 地域の図書館としての役割の明確化

地域の歴史や文化、新聞、行政資料などに関する地域資料の充実を。

##### ④ 魅力ある事業の展開

- 企画展示や講習会のアイデア募集やボランティア募集など、市民との協働により各種事業の充実を。

- ・ 図書館まつりや館内コンサートなど、人と人が交流する事業を。
  - ・ 魅力のある閉架書庫の見学ツアーや企画展示など、図書館の持つ魅力的な素材を活かした魅力づくりを。
- ⑤ 施設間のネットワークの推進
- 1) 身近な図書館としてのあさけプラザと楠公民館(現・交流会館)図書室それぞれの特色を活かしながら、図書館の充実と魅力の向上を。
  - 2) 施設間のネットワークの推進
    - ・ 図書館情報・物流のネットワークにより、中央館、地域館としての位置づけ、また自動車文庫の活用も含めてサービスの向上を。
    - ・ 学校図書館に対し、図書館司書による支援や連携強化、児童生徒の「調べ学習」へ支援体制の充実を。
- ・ 近接している市立博物館や市文化会館等との連携やすみ分けを。

### 3. 四日市市総合計画(2011～2020 年度)における位置づけ

市立図書館については、市民ニーズを踏まえ、閲覧・展示スペースの拡充やバリアフリー化・館内利用者動線などの優先的課題の解決を図り、快適な読書環境を整備していきます。その後、今までの調査検討を踏まえた上で、情報化の進展などを十分に見定めるとともに、公共施設の跡地活用なども視野に入れ、具体的な立地場所の選定ののち新図書館に関する整備構想を策定します。

なお、広域行政の観点から菰野町・朝日町・川越町等の図書館も含めた広域ネットワークを強くPRし、利用を促進します。

### 4. 第2次推進計画における新図書館に関する事業の位置づけ

総合計画の第2次推進計画(平成26～28年度の3ヵ年計画)において、新図書館整備構想策定事業を平成28年度の予定で位置づけ。(平成26年2月)

その後、別途、「中心市街地活性化推進方策検討調査の中でも、図書館等の文化施設の検討もなされていることから、その結果を踏まえ、市としての方針を定め、補正予算により対応する。」旨の内容で第2次推進計画のローリングを実施。

(平成28年2月)

### 5. 四日市市産業活性化戦略に関する提言書(平成26年3月)

(中心居住のクオリティオブライフを高める文化機能の誘導)

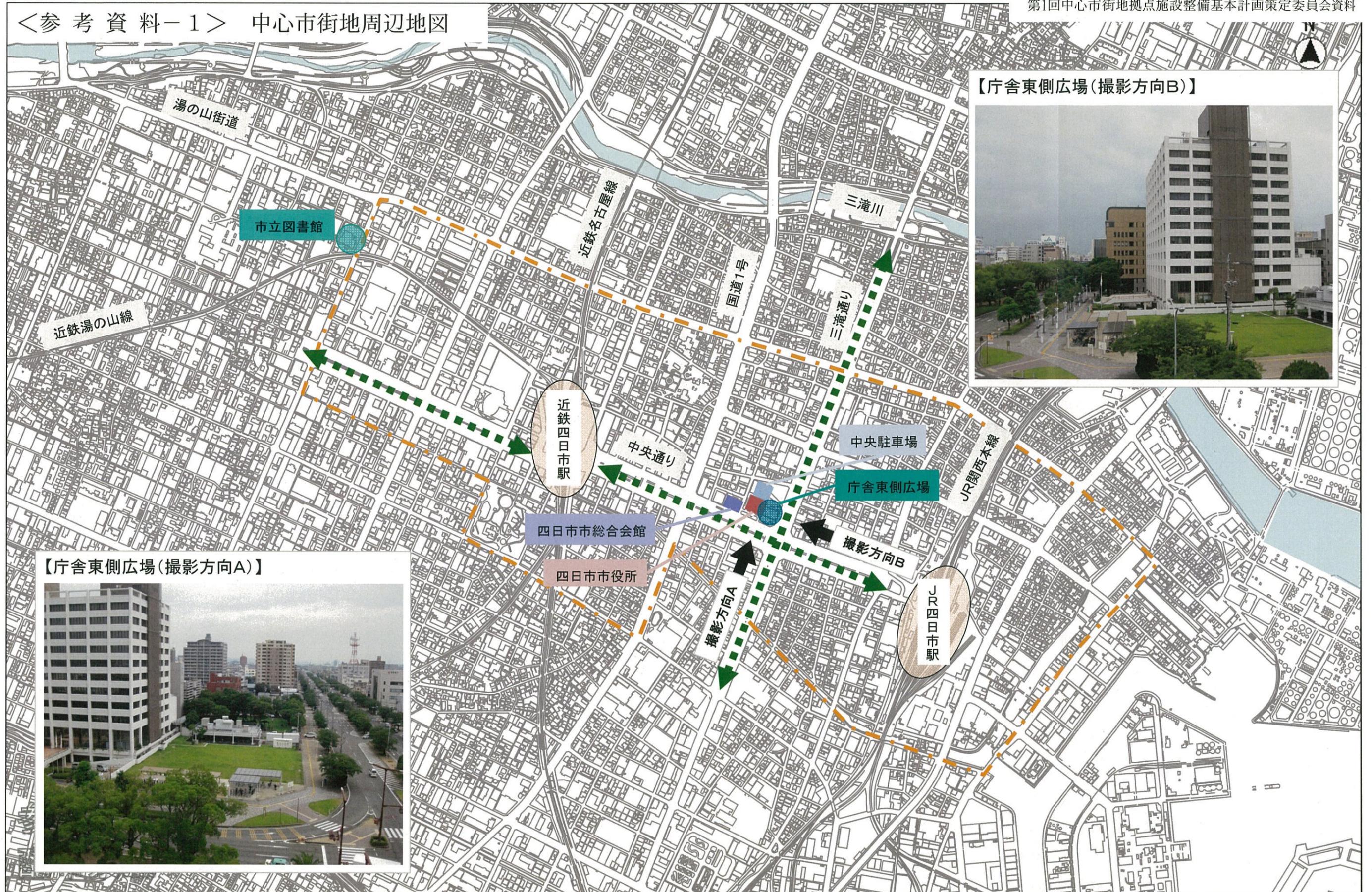
中心部における居住環境・就労環境の「質」の向上を図るため、近鉄四日市駅周辺において、市民の文化的欲求を満たし、知的好奇心を高められるような機能・設備を附帯した図書館や小ホールなどの施設の一体的な整備を図る。それにより、さまざまな年代層の人が集まり交流を図ることのできる空間を創出し、中心部における居住環境・就労環境の「質」の向上を図っていく。

## 2. 中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会 今後のスケジュール

年度	28							29							
月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月…	
策定委員会の 開催予定	◎ 第1回 策定委員会			◎ 第2回 策定委員会			◎ 第3回 策定委員会		◎ 第4回 策定委員会			◎ 第5回 策定委員会			
各委員会における 検討内容	<b>第1回</b> ○中心市街地拠点施設整備に向けて ・これまでの検討経緯(新図書館、中心市街地拠点施設) ・今後のスケジュール ・意見交換		<b>第2回</b> ○4つの導入機能についての基本的な考え方の整理 ・滞在したくなる空間づくり ○新図書館についての検討 ・新図書館に求められる役割、各種サービスのあり方について(営業時間とICT対応など) ○拠点施設の建築可能面積の提示(延床面積等を提示) ○周辺の公共施設や道路との導線検討、中心市街地との回遊性の検討 ○ランドマークとしての魅力的な空間形成について			<b>第3回</b> ○4つの導入機能についての基本方針の設定 ・施設全体規模、各機能の規模の整理 ・新図書館についての基本方針の設定 ・各施設の利用者数の設定 ○交通アクセスの検討 ・駐車場・駐輪場の確保に向けた検討 ・公共交通機関との有機的な連携 ○様々な市民意見の反映について			<b>第4回</b> ○施設計画の提示 ・計画図、配置図 ・垂直ゾーニング図 等 ○事業化計画の検討 ・概算事業費の算出 ・管理運営体制の検討(PPPの視点も入れて) ○基本計画素案について ・計画案の構成の確認 など			<b>第5回</b> ○基本計画案の提示 ・最終意見のとりまとめ		基本 計 画 策 定	
	市民意見の聴取														

※中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会の委嘱期間：平成28年8月31日から平成29年9月30日

<参考資料-1> 中心市街地周辺地図



【市舎東側広場(撮影方向B)】



【市舎東側広場(撮影方向A)】

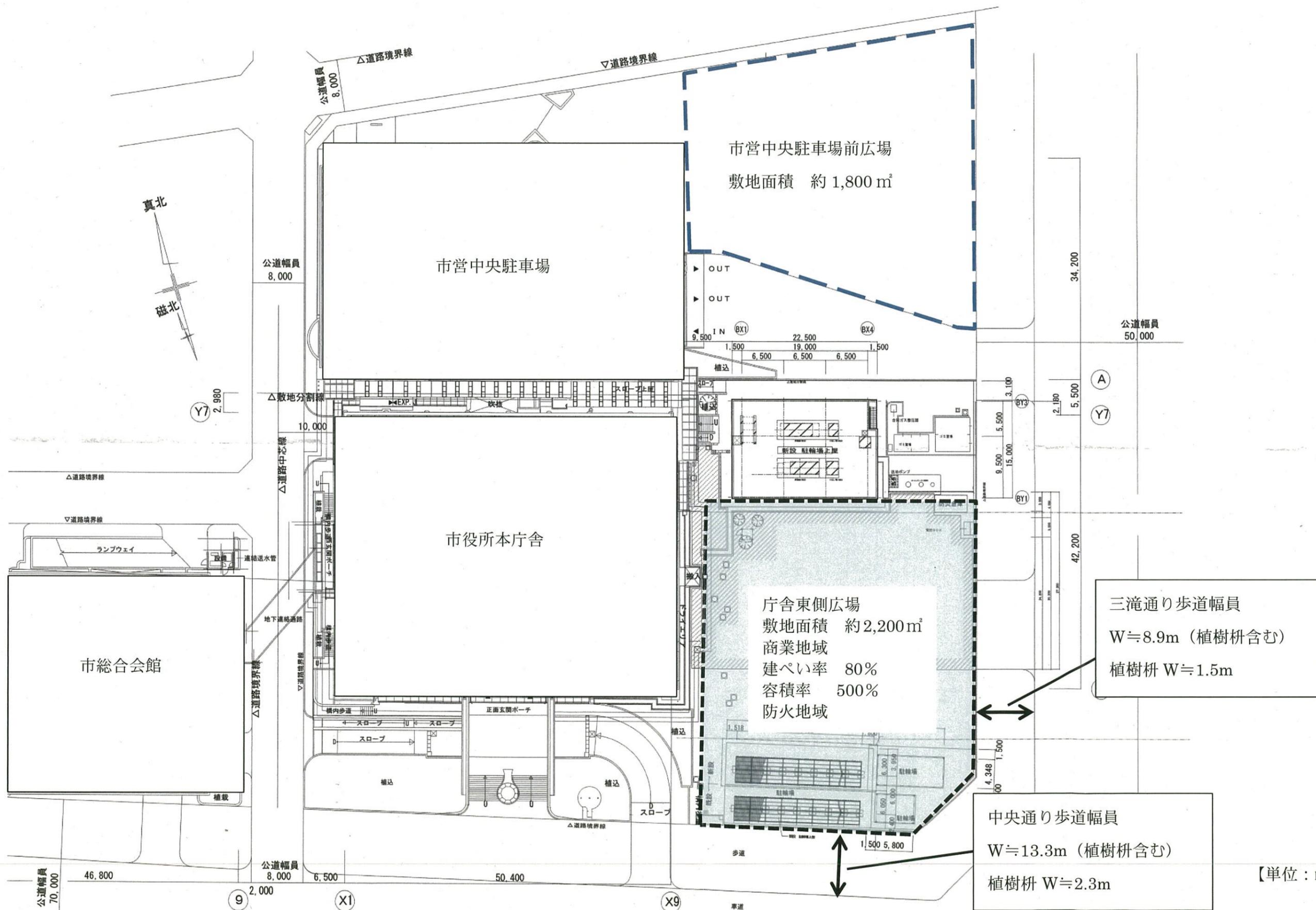


--- 中心市街地活性化基本計画で定める中心市街地の区域(約185ha)    ← → 都市景観の軸



<参考資料-2> 市庁舎周辺平面図

平成 28 年 8 月 31 日  
第 1 回中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会資料



【単位：mm】

＜参 考 資 料— 3 ＞四日市市立図書館の現況及び利用者数の推移について

1. 土地及び建物等の状況

鉄道駅	近鉄四日市駅より 0.8km (徒歩 15 分)
土地	計 5250.29 m <sup>2</sup> (敷地 4738.01 m <sup>2</sup> + 高架下 512.28 m <sup>2</sup> )
建物	鉄筋コンクリート造 地上 3 階・地下 1 階 (昭和 48 年 7 月竣工) 建築面積：計 1636.68 m <sup>2</sup> 延床面積：計 4147.42 m <sup>2</sup>
主な設備	閲覧席 計 102 席 学習席 計 196 席 図書検索パソコン 計 6 台 インターネット情報閲覧パソコン 3 台 自動貸出機 1 台
駐車場	専用駐車場 計 67 台 共用駐車場 (文化会館第 4 駐車場) 計 30 台
自動車文庫	移動図書館車 2 台
蔵書数	435,890 冊 (平成 27 年度末現在)
開架・閲覧スペースの面積	約 1,060 m <sup>2</sup>

2. 図書館利用者数等の推移

年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
開館日数 (日)	275	277	274	249	274
入館者数 (年間)	291,629	290,507	286,016	265,668	285,866
入館者数 (人/日)	1,060	1,048	1,043	1,066	1,043
貸出者数 (人)	170,217	171,804	167,710	154,561	195,944
貸出冊数 (冊)	847,692	865,294	842,660	791,588	823,290

## ＜参考資料－４＞導入機能の想定イメージについて

### 1. ICTにも対応し、日常の居場所ともなる「新たな滞在型図書館」

#### ・想定イメージ

書架について、十分な空間を確保するとともに、読書だけでなく、調べものをしたり、子どもから大人まで、幅広い世代がゆっくり本を楽しめるような、閲覧席やスペースにも配慮する。

また、ICTコーナーを設け、PCなどを使用したデジタル資料等の閲覧や調べものにも対応することで、ずっとここにいたくなる、来訪者に滞在してもらえる図書館にしていく。



(出典) 稲城市立中央図書館



(出典) おおぶ文化交流の杜 図書館

#### 《参考》 他都市の事例

◆稲城市立中央図書館（稲城市）：約 3,490 m<sup>2</sup>

◆おおぶ文化交流の杜 図書館（大府市）：約 3,650 m<sup>2</sup>

◆箕面市立中央図書館（箕面市）：約 1,950 m<sup>2</sup>



(出典) 箕面市立中央図書館

### 2. 市民活動における多世代交流機能やワークショップスペース機能

#### ・想定イメージ

市民活動の担い手組織や市民団体の会議、打ち合わせ等に活用できるミーティングルームやオープンスペース、簡易スタジオ等により、幅広い世代の交流を促す。

また、学習や作業等への参加・体験を通じて、グループの相互作用により、双方向の学びや創造を実現する場もつくる。



(出典) みんなの森 ぎふメディアコスモス



#### 《参考》 他都市の事例

◆みんなの森 ぎふメディアコスモス  
（岐阜市）

会議室、オープンスペース等：約 870 m<sup>2</sup>

◆ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス  
（武蔵野市）

会議室、スタジオ、ギャラリー等：約 700 m<sup>2</sup>



(出典) 武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス



### 3. シティプロモーションの拠点となる情報発信機能

#### ・ 想定イメージ

市民活動の担い手組織や市民団体のイベントや活動などのパンフレットや情報紙等を配架したり、市内企業や活動団体の展示スペースを設け、情報を発信する。

また、シティプロモーションの一環として、大型スクリーンによる映像等を活用し、本市の歴史、多彩な魅力および地域資源などを知ることを通して、市民が本市の魅力をあらためて認識し、四日市への愛着や誇りを持っていただくための情報発信を行う。

同時に、市外の方には、本市の魅力を効果的に発信する。

《参考》 他都市の事例

- ◆吹田市情報発信プラザ Inforest すいた  
(吹田市)  
：約 70 m<sup>2</sup>



(出典) みんなの森 ぎふメディアコスモス



(出典) 吹田市 シティプロモーション推進室

### 4. カフェなど軽飲食ができる憩いの空間

#### ・ 想定イメージ

カフェなど軽飲食ができる場所や、目的がなくても、気軽に立ち寄っていただき、お喋り、待ち合わせ、休憩などに利用してもらえるような空間をつくる。



《参考》 他都市の事例

- ◆せんだいメディアテーク  
(仙台市)  
カフェ：約 110 m<sup>2</sup>



(出典) せんだいメディアテーク